

「ハッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

平成 23 年 11 月 6 日（日）11:00~12:00

国土交通省ハッ場ダム工事事務所川原湯総合相談センター

発言者：意見発表者 3

どうも皆さんこんにちは。私はこの関係地区水没 5 地区で水没はしないんですが、同じ地域の住民、●地区の●●と申します、よろしく願いいたします。あぐらをかいてすみません失礼します。過日発表されました、ハッ場ダムの建設事業の検証に係る検討ということで、検討の報告書ですね、素案の概略版を読ませていただきまして、感じたことをちょっと申し上げさせていただきます。

皆さんのあのお手元に、資料が配布されていると思いますけれど、ほとんど同じことで専門的なことは書いてありませんし、述べるつもりもありません。概要版を見ましてですね、ダムの建設に係るあらゆる観点から、幅広く検証されていると感じるんですが、専門用語そういう言葉が非常に多く、私たち素人ですからとても理解できない、解釈することが困難な点が多々ありました。それは、ダム建設に係る検証作業ですから、その数字や専門用語があっても、仕方がないと感じました。そんな中で、いろいろな点を評価している目的別総合評価、そういう中に洪水調節、新規利水、流量の正常な機能の維持、持続性、地域社会の配慮、環境への影響、費用対効果等、新規導水等のダムに頼らない事業の方が、ダム建設の方が有利であるということが、証明、立証されていると、概要版を読んだ中で感じました。そういう中で、ほとんどの項目で、ダム案有利という結果を踏まえ、今後の検証作業はですね、スムーズに進み、この素案が本省にあげまして、ダム建設が実現されることを、私たちは、望むものであります。概要版でも、読んでみますと、そこそこ、述べられておりますが、費用、また、今進められている作業等も相当進んでいるわけですね。そしてまた水没住民の移転、代替地用地の取得、こういうところが、最終段階を迎えていると、こういうことで今、いろいろなことが言われている中で、中止というようなことになったら、今まで使われた膨大な税金というものが、藻屑と消えてしまうんじゃないかと、私たちはそんなふう感じております。今回の意見は、意見聴取は、述べるということだけで、回答とかそういうことはないということですが、もし、仮にダムが中止、できない、そんなときは、思い出深き故郷を捨てて出て行った人達、こういう人達が、元の故郷に戻れるんでしょうか。また、買い上げた土地はですね、地元の人に売ってくれるんでしょうか。沈まないんだからそういうことになると思うんですが、このへんは、どうなのか、全く検証されておらないわけです。ですからそういう中でこんな人達の声を聞くんですね。もし、本当に沈まないんだしたら、ふるさとへ帰ってもいいんでしょうか。沈まないんだから、今まで売った農地をまた、地主の方に、売ってくれますか。そういうことも、今後の検証作業に入れて検討していただきたいと思います。いろいろの、尊い犠牲を省みずですね、建設に協力した住民を、安心と安らぎを、与えるのが、今の国の最大の責務と、私はこんなふう感じるところであります。ですから、私達としては、この今、検証結果の素案をぜひ実現に向けて、本省にあげ、採用させていただいて 1 日も早く、本体を着手、これをしていただきたい、というのが、ここに残る今、住民の大半の気持ちだと思います。いろいろ、削減と言われているなかで、無駄ですとか、今いろいろ、荒川、利根川でも、工事が行われたりして、洪水の危険等もないってことを言われておりますけど、もしそういう中で、時々最近聞きますところの、想定外というようなことが起きたら、いったい今までここまでできた、私達の苦勞を、またこの作業にかかった時間、お金ってのいうのが本当に無駄になると。それは

危険ということはですね、あの、ダム、無駄ですか、岩盤が弱いとか、水が悪いとか、そういうことが言われていますけど、私達住民とすれば、そういうことがわかっていたんでしょから、もっと早く、言っていただいて、このダムを着手する前にですね、そういうことなら私達はずっと長い間反対をしてきたんですから、一緒になって、いらないんじゃないかと、こういうふうことになると思います。そういう中で、国もこんなこと言っていますけど、もうとにかく、ダムができるから移転をしてくださいと。こういう、出て行った人達、もしできないなら、帰らせてくれって言ったら帰らせてくれるんですか。ぜひそのへんもですね、これからは、人の気持ちというのも入れて、検証をしていただきたいと思います。簡単なんですけど、地元としては、こんなところです、どうもありがとうございました。

ありがとうございました。

以上